

震災から10年

平成23年(東日本大震災)～令和2年の歩み



平成23年

- 3月 東日本大震災発生。原発事故のため、町の一部を含む地域に避難指示発出
災害対策本部を津島支所に、次いで二本松市役所東和支所に設置
- 4月 浪江町役場二本松事務所設置
福島第一原子力発電所から半径30キロメートル圏内で行方不明者の捜索開始
- 5月 仮設住宅への入居開始（桑折町分）
浪江町役場二本松事務所を福島県男女共生センター内に移設
浪江町東日本大震災合同慰霊祭開催

平成24年

- 3月 浪江町東日本大震災追悼式開催
- 4月 浪江町復興ビジョンを策定
- 10月 浪江町役場二本松事務所が平石高田工業団地内に移転
浪江町復興計画【第一次】策定

平成25年

- 4月 避難区域を「帰還困難区域」「居住制限区域」「避難指示解除準備区域」の3区に再編
- 11月 B-1グランプリで「なみえ焼そば」がゴールドグランプリを受賞
浪江町内の本格除染開始

平成26年

- 3月 浪江町復興まちづくり計画を策定
- 5月 酒田地区で震災後初の水稻試験栽培を実施
- 12月 常磐自動車道浪江インターチェンジ開通

平成27年

- 2月 希望する世帯にタブレット端末を配布開始
- 3月 大平山霊園完成
- 7月 マリンパークなみえ敷地内で、仮設焼却施設が本格稼働開始
- 11月 震災後初めて浪江町産の米を販売

平成28年

- 3月 浪江町地域スポーツセンターが完成
- 10月 浪江町合併60周年記念式典開催
仮設商店街「まち・なみ・まるしえ」がオープン
- 11月 避難指示解除に向けた準備宿泊を実施

平成29年

- 3月 浪江町復興計画【第二次】策定
3月31日に帰還困難区域を除く区域で避難指示を解除
- 4月 浪江駅が営業再開し、JR常磐線浪江駅～小高駅間の運転が再開
- 4月～5月 十万山国有林で大規模な火災が発生
- 11月 7年ぶりに町内で「十日市祭」が開催

平成30年

- 1月 請戸漁港で震災後初めて出初式が開催
- 4月 なみえ創成小学校・中学校開校
- 7月 相馬野馬追で8年ぶりに浪江町から標葉郷の騎馬武者が出陣
- 8月 吉田数博町長が就任
- 10月 「うけどん」が浪江町イメージアップキャラクターに就任

平成31年・令和元年

- 3月 国道114号に、ソーラー独立電源街路灯（THE REBORN LIGHT）設置
- 7月 「イオン浪江店」がオープン
- 10月 浪江町の「ご当地ナンバープレート」交付開始
- 11月 ご当地アイドル「浪江女子発組合」が結成

令和2年

- 3月 福島水素エネルギー研究フィールド開所
JR常磐線浪江駅～富岡駅間の運転が再開し、全線が開通
- 4月 請戸荷捌き施設で9年ぶりに競りが再開
- 8月 「道の駅なみえ」がプレオープン



行方不明者捜索



避難する車の列



開所した二本松事務所



震災後初の出初式



福島水素エネルギー研究フィールド開所



B-1グランプリで「なみえ焼そば」がゴールドグランプリを受賞



7年ぶりに町内で開催した
十日市祭



合併60周年記念式典



震災後初の浪江町産の米販売を前に稲刈り



常磐自動車道
浪江インターチェンジ開通



「イオン浪江店」オープン



祝 開校式・入学式
なみえ創成小学校・中学校開校

写真で見る ～震災から 10年～

震災から10年。避難指示の一部解除から4年が経とうとしています。この間、町の復旧・復興のための様々な取組が行われ、現在、町は少しずつにぎわいを取り戻しつつあります。

震災から今日までの10年間の歩みを振り返ります。